

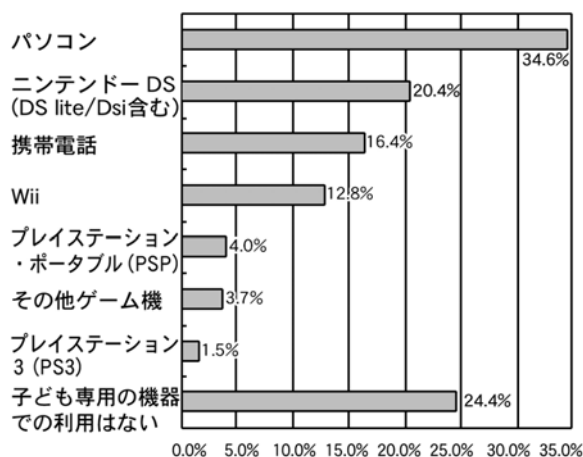
携帯ゲーム機器

ネット接続ができる携帯ゲーム機器

携帯ゲーム機器とは、文字通り携帯可能な小型ゲーム機器のことで、カラー液晶画面を搭載し、ゲームソフトを用いて遊ぶ個人用コンピュータゲーム機器をいう。通信機能を持ち、インターネットのサイトを閲覧できるものも多い。

URL フィルタリング技術のネットスター株式会社の調査によると、子ども(小学3年生～高校生)のインターネット利用経験は、パソコンに次いでニンテンドーDS を使っているものが多いことがわかった。

◆子ども専用になっている機器でのインターネット利用経験 (複数回答可) 平成22年3月



また、ゲーム機の通信機能を利用したことがあり、「知らない人と遊んだことがある」のは、小学校低学年で 8.2%、小学校高学年は 16.6%、中学生は 20.7%いた。据え置き型ゲーム機と違い、携帯型ゲーム機は親の目が届きにくい。保護者の 70.9%が「子どものゲーム機でのネット接続に不安がある」と回答している。

しかし、一部のゲーム機はペアレントコントロール機能(「年齢制限」や「コンテンツ制限」など)を備えているにも関わらず、その機能を認知、利用している保護者は少ない。

・ペアレントコントロール機能の保護者の利用率

「ニンテンドーDS」…5.1%

「プレイステーションポータブル (PSP)」…4.2%

ゲーム機器のフィルタリングサービス

インターネットの世界には、違法サイト(→p.15)や出会い系サイト(→p.61)などの有害サイトも存在している。最近では、ゲームの攻略サイトに見せかける悪質サイトも増加し、子どもが意図していなくてもアクセスしてしまうことがある。

それらから子どもたちを守るために、ゲーム機器用のフィルタリングサービス(→p.79)もある。

●「i-フィルター」 デジタルアーツ(株)

インターネットアクセスを制御するソフトで、パソコンだけでなく、「ニンテンドーDS」や「プレイステーション・ポータブル」など計7種のゲーム機に対応する製品がある。(月額315円税込)

●「トレンドマイクロ キッズセーフティ/ウェブセーフティ」トレンドマイクロ(株)

「プレイステーション・ポータブル」や「プレイステーション3」に対応。有害サイトの閲覧を規制。(年額1980円税込)

携帯ゲーム機を使用した違法行為

子どもたちの有害サイト接続への不安だけでなく、「携帯ゲーム機器」でのモラルに違反した使用方法も問題になっている。

三陸河北新報社 2009年3月7日の記事によると、子どもたちが無線LAN機能のある「携帯ゲーム機」を使用して、他人のパソコンの無線LANからインターネットに接続し、いわゆる「ただ乗り」を行っているとして、気仙沼市内の一部の小中学校が保護者に注意喚起の文書を配布した。

他人のIDやパスワードを無断使用して接続した場合は違法(不正アクセス法)だが、「ただ乗り」はこの法に抵触しない。しかし、他人の無線LANを無断使用することで、身に覚えのない請求が所有者に届いたり、子どもたちが有害サイトにアクセスしたりする不安がある。

何よりモラル上の問題があり、学校では児童に、「第三者の電波を無断使用することは、他人の家のトイレを勝手に使うような行為」というたとえて説明して、「ただ乗り」をやめるように話したという。